

俳句鑑賞

(020429)

湖へ甲高き声初景色

感動は言葉になる。いつも見慣れた景色も正月
となるとまたひととき新鮮に見える。放たれた
言葉が興味深い

満月を押し上げている古城かな

城の威を押し上げている夏木立

「押し上げる」という軽妙な言葉を巧みに生か
した二句。いずれも句会で高く評価を受けてい
る。城と相性がいいのかもしれない。

菜の花や地蔵に預けるランドセル

春はランドセルが似合う。ピカピカのランドセ
ルを背負って下校する。緊張した一日の一寸し
たした時間を見つけ道草。大事な大事なランド
セルはお地藏様に預けることとして。菜の花、
前垂れ、そしてランドセル。すてきな春の午後
である。

かたはらの辞書古びたり文化の日

国民の祝日である文化の日。「自由と平和を愛し文
化をすすめる」ための日として定められました。
作者の手元にはいつも辞書が置かれているのでし
ょう。長年親しんできた辞書。それを愛おしく見
ている姿に心の豊かさを感じます。「辞書古びた
り」が生きた作品です。